

平成29年度 事業計画書

平成29年4月 1日から
平成30年3月31日まで

公益財団法人四国中央市体育協会

目 次

- I. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 18
- II. 基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 19
- III. 今年度の重点努力目標・・・・・・・・・・ p 20～p 21
- IV. スポーツ振興事業・・・・・・・・・・ p 21～p 24
- V. スポーツ施設管理運営事業・・・・・・・・ p 25～p 26
- VI. 組織及び人員体制・・・・・・・・・・ p 27～p 28

I. はじめに

いよいよ、えひめ国体開催の年になりました。国内最大のスポーツの祭典、国民体育大会が、本県初の単独開催ということで、いたるところでのPR活動が目立つようになり、県内の雰囲気もどんどん国体に向けてヒートアップしてきています。

えひめ国体では、2万2千人以上の選手・監督が参加予定となっており、四国中央市においては、監督・選手が約3千人、役員関係者が約2千人、応援等が4万5千人で総参加者数5万人の来市が予想されています。47都道府県の方々が一度にこんなにたくさん集まる機会が、他にあるでしょうか。これを好機に、ますます四国中央市が活性化していくであろうと期待します。

そもそも国民体育大会とは、第二次世界大戦後の1946年に、荒廃した世の中にスポーツを通じて勇気と希望を与えようと、日本体育協会が発案したものです。比較的戦災にあわなかった京阪神地域で、その年に第1回目が開催されました。それ以来、国体は、「広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすること」を目的として開催されてきました。そして、毎年開催地を中心に、スポーツの振興・文化の発展に多大な貢献をしてきています。

わかやま国体のホームページに掲載されている報告書の中には、様々な形で国体に関わった方々の所感集が掲載されていました。選手はもとより、看板製作をした高等学校デザイン科、陸上競技の競技補助員、都道府県応援団の小学生、清掃活動を行った緑道愛護会、水泳のパソコン要約筆記を行った情報支援ボランティアなど、陰で国体を盛り上げていた人たちが多くいたことに気づきます。所感には「感謝」「感動」「貴重な経験」「今後につなげたい」という言葉が並んでいます。国体というものを「する」「見る」「支える」様々な形で味わった方々が、成功を経験し、様々な感情を抱き、その思いを後の行動に生かしていくことが、地域の活性化につながるのであろうと感じます。四国中央市でも、大勢の方が何らかの形で国体に触れ、これまでに無いような感情に出会い、今後の四国中央市活性化につながっていくことを願っています。

国体成功に向け、当協会も四国中央市や競技スポーツ団体など関係機関や団体と連携し、より良い施設の提供、選手強化の協力などに取り組んでいき、来市された方々に最高のおもてなしができるように準備していきます。また、国体を一過性のイベントにすることなく、終了後も「この施設において、あの熱戦が繰り広げられた」という証しを引き継いでいけるよう、施設を有効活用した事業等に取り組んでいきます。

II. 基本方針

(公財)四国中央市体育協会は、「スポーツの健全な普及発展を図り、市民の体力向上に努め、市内の体育施設をスポーツの拠点と位置づけ、管理運営し、もってスポーツの振興に寄与すること」を目的に設立された公益法人です。

当協会の特徴は、競技団体をはじめとした45の加盟団体や事務局を置いているスポーツ少年団及びスポーツ指導者協議会、またスポーツ推進委員協議会との連携を円滑に行うことができることであり、このことから効果的な大会誘致、開催が可能となります。

また、(公財)日本体育施設協会公認の上級体育施設管理士や健康運動指導士を始めとした各種の資格をもった職員がおり、この人材資源を活用し、市民の健康・スポーツの普及・振興を推進します。

更に、愛媛県体育協会や四国中央市その他関係機関・団体等と連携し、競技力の向上、生涯スポーツの振興、市民の健康増進のための各種事業の展開や今年開催される「えひめ国体」に向けて選手の育成・強化等の活動を行います。

加えて、指定管理者制度に基づき、平成16年度から平成20年度までは伊予三島運動公園施設、平成21年度から23年度は伊予三島運動公園施設と土居地域体育施設、平成24年度から現在にかけては伊予三島運動公園施設とスカイフィールド富郷、川之江地域体育施設、やまじ風公園多目的グラウンドを、利用者のニーズに対応し適切に管理運営を行ってきた実績があります。平成29年度から平成33年度までの5年間も引き続き指定管理を行うことになり、今まで以上に、市民にとって居心地の良い施設となるよう管理運営を行っていきます。

また平成26年度からは、利用料金制を取り入れ、指定管理者として適正な公益運営を行ってきました。引き続き、スポーツ施設の管理運営と施設を十分活用したスポーツ振興を一連の業務として取り組み、市民の利便性の向上に努めます。



Ⅲ. 今年度の重点努力目標

- (1) 今年開催のえひめ国体に向けて、関係機関と連携し、市民へ周知活動をするとともに、各競技団体に対して競技力向上等の取組みを実施する。
- ① 昨年実施したえひめ国体のリハーサル大会をもとに、積極的に運営に参画するとともに、本大会へとつなげていく。
 - ② 地元開催種目を中心とした競技力向上を図るために競技団体と連携し、練習場の確保を図る。
 - ③ 国民体育大会の視察をもとに、国体推進課、生涯学習課、並びに都市計画課と連携し、2017年開催の準備を図る。
- (2) 各種委員会等で事業の見直しを行い、加盟団体やその他関係機関・団体と協働し迅速・柔軟な対応を行うことで、地域に根ざした魅力的な事業を展開する。
- ① 各種イベント・大会等事業の見直しを行い、参加しやすいものとすることで市民の交流を図る。
 - ② スポーツ教室を継続して実施し、多くの市民に親しんでいただく。
 - ③ 教育委員会や学校と連携し、子どもたちの体力向上や心身の健康につながるイベントを実施する。
 - ④ 障がい者団体との連携により、障がい者スポーツの推進を図る。
 - ⑤ 各種目団体等に対してヒヤリングを実施し、その実態を把握した上で積極的に援助・育成をする。
 - ⑥ ホームページや広報誌を充実させ、新鮮な健康・スポーツの情報を発信するとともに、当協会及び加盟団体、スポーツ少年団のPRを積極的に行う。
- (3) 「利用者の安全」を最優先に考え、日々の巡回等をはじめ施設の維持管理を徹底し、管理施設が市民にとって安心して気持ちよく利用できる憩いの場となるよう努める。
- ① 職員で分担し、巡回業務を徹底、記録する。
 - ② 日々の巡回業務に加え、3ヶ月に1回備品チェックを行い、修繕等必要な場合は速やかに対応する。
 - ③ 利用者が快適に過ごすことができ利用率アップにもつながるよう、清潔感のある施設を保つ。
- (4) 市内体育施設の一括管理及び利用料金制の導入4年目を迎え、増大する業務に対して利用サービスを低下させることなく、更なる効率的な経営改善と事務事業及び業務分担の見直しを行い組織体制の強化を図ることで、「公益財団法人」としてより一層公益性・透明性を高める。
- ① 収入支出の徹底管理のもと経費削減を心がけ、スポーツ振興事業や施設管理等に還元していく。

- ②職員の業務分担を見直すとともに、定期的にミーティングを実施し、連携・協力して効率的に業務に取り組み個々の資質向上を図る。

IV. スポーツ振興事業

1. スポーツ大会等開催事業

(1) 各種スポーツ大会開催事業

地域に密着した魅力的なスポーツイベントを各関係団体と連携協力して実施し、市民の心身の健康増進や体力の向上につなげ、交流を深める。

表1. 平成29年度四国中央市スポーツ行事

大会名	期日	会場
四国中央市スポーツ少年団春季大会	4月2日～ 5月21日	伊予三島運動公園他
高校野球招待試合 (帝京第五・松山東・三島)	4月16日	伊予三島運動公園 野球場
スポーツ教室見学会	4月19日	運動公園体育館他
歴史感じるゆっくりウォーク '17	4月26日	徳島県徳島市
泳げない子の水泳教室	夏休み期間 連続10回	妻鳥小学校
マンダリンパイレーツ公式戦	9月9日、10日	浜公園川之江野球場
愛媛FC 四国中央市マッチシティー	9月23日 又は24日	ニンジニア スタジアム
第12回市民スポーツ祭	10月29日～ 11月5日	運動公園体育館他
第12回スポーツアドベンチャー IN 四国中央市	11月3日	運動公園体育館他
秋満喫健脚ウォーク'17	11月14日	岡山県吉備路
第14回市内駅伝競走大会	12月3日	浜公園周辺
第13回市内綱引大会	12月17日	土居総合体育館

第31回新春やまじっこ マラソン大会	H30年1月14日	土居ふるさと広場 周辺
第14回市内小学生駅伝大会	H30年2月4日	運動公園内



(2) スポーツ教室等開催事業

市民に健康・スポーツについての情報や運動・スポーツを実施する場を提供し、興味・関心を高めるきっかけをつくる。

表2. 平成29年度スポーツ教室1期

教室名	対象	回数	内容
朝の癒しストレッチ	一般	15回	マット上でヨガのポーズやストレッチを行い無理なく筋肉を動かす。
ママのための シェイプアップ	一般女性	16回	ストレッチや筋力トレーニングを中心に、産後の気になる体を引き締める。子ども連れOK。(託児なし)
のんびりヨガ	一般	16回	初心者向けの教室。一人ひとりの体質、体調、年齢に合わせたプログラムで無理なく続けることができる。
ママのためのシェイプアップ&子ども教室	1歳以上の未就学児とママ	14回	お子様連れで気軽に来ることができる。ストレッチや筋力トレーニングを中心に、産後の気になる体を引き締める。ママの教室中子どもは別教室に参加。

レベルアップヨガ	一般	16回	ある程度ヨガの経験があり、次の段階に進みたい方向けの教室。
朝のエアロフィットネス	一般	14回	エアロビクスやボクササイズなどの有酸素運動を中心に行い、体を引き締める。
金曜ヨガ	一般	14回	体を引き締めることを目的としたヨガ教室。スタイルや姿勢を良くしたい方におすすめ。
出張運動プログラム	—	随時	希望者からの要請により各場所に職員が赴き、希望のプログラムを実施する。

(3) スポーツ情報提供事業

ホームページを活用し、施設の紹介・予約、イベント・スポーツ教室等当協会の活動状況や各種関係団体の活動状況、その他スポーツに関する情報を発信する。また、年に一度広報誌「四国中央スポーツだより」を発行し、市民に対して健康・スポーツに対する関心を高める機会を提供する。



2. 加盟団体等育成事業

(1) 加盟団体等助成金交付事業

加盟団体の組織の充実と競技力向上のために行う各種事業等の活動に対し助成を行う。また、愛媛国体に関する準備・選手育成・強化を図ること、及び市民の体力向上やスポーツ人口の底辺拡大を図ることを目的とし、加盟団体等に対し助成金を交付する。

- a-加盟団体等育成助成金の交付
- b-加盟団体等教室・大会助成金の交付
- c-えひめ国体準備等事業費助成金の交付

(2) 全国大会等激励事業

当市における競技スポーツのレベルアップを図るため、各種世界・全国競技大会参加者に対し助成金及び奨励費を交付する。

- aー全国大会参加助成金の交付
- bー世界大会参加助成金の交付
- cーふれあいスポーツ大会参加奨励費の交付（予選会の少ない競技スポーツ及びレクリエーション的スポーツの全国大会参加者に対し交付する。）
- dー国民体育大会参加奨励費の交付

(3) スポーツ指導者養成事業

当市のスポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ活動の指導助言及び、事業に対し協力、並びに助成・支援する。

- aー公認スポーツ指導者の支援
- bースポーツ教室・講習会の実施
- cースポーツ指導者連絡会議・スポーツ普及対策会議への派遣

(4) 青少年スポーツ育成事業

子どもたちに地域を基盤としたスポーツの場を提供し、計画的・継続的に実践することにより、子どもたちの健全育成を図る。

- aースポーツ少年団の事務局をおき、市内大会を開催
- bースポーツ少年団への加入促進活動
- cースポーツ少年団の指導者の育成（研修会等の実施）

3. 表彰事業

スポーツ顕彰規定に基づきスポーツの振興に貢献した個人及び団体並びにスポーツで優秀な成績を収めたものを永く顕彰するとともに、これを称揚する。

- aースポーツ賞
- bーふれあいスポーツ賞
- cースポーツ指導者賞
- dー体育功労賞
- eースポーツ優秀賞
- fー体育特別表彰

V. スポーツ施設管理運営事業

1. 指定管理施設の管理運営

平成29年度から平成33年度までの5年間、指定管理者として下記施設を管理運営する。また、利用者が安全・安心・快適に利用できる施設づくりは、施設管理運営の中で最優先課題と位置づけ、管理運営を行う。

(1) 指定管理施設

- aー伊予三島運動公園（**体育館**、野球場、多目的グラウンド、テニスコート、**市民プール**、相撲場、屋内練習場）
 - bースカイフィールド富郷
 - cー川之江体育館
 - dー川之江浜公園（**野球場**、多目的広場、サブグラウンド、パークゴルフ場）
 - eーかわのえテニスセンター
 - fー川之江運動場、埋立グラウンド、東部グラウンド、向山公園グラウンド
 - gーやまじ風公園多目的グラウンド
- ※太文字の施設については直営で管理を行う。

(2) リスクマネジメント

aー施設の巡回

利用頻度が最も多い各体育館については1日1回巡回を実施し、施設や器具等のチェックを行う。その他施設においても週に最低2回は巡回を実施する。チェック内容は日誌等に記録する。

bー器具点検

3ヶ月に1回、施設の器具等の点検を実施し、必要があれば補修、購入する。

cー貼紙等での注意

即時補修、撤去できない危険な場所、物については、貼紙等で注意を呼びかける。

dー防災訓練の実施

1年に2回防災訓練を実施し、いざというときに備える。

eー救命救急研修の実施

人命救助の場で落ち着いて適切な対応ができるよう、1年に1回研修を実施する。

fー危機管理マニュアルの徹底

「四国中央市公共体育施設危機管理マニュアル」を職員で確認し、緊急時に適切に行動できるようシミュレーションする。

(3) 施設設備の維持管理

定期的に適切な保守・安全点検を実施し、利用者の安全確保及びコスト削減の観点からも施設設備の維持修繕を行う。

(4) 清掃業務

業者委託により実施するが、気がついたところは職員で対応し業者への指導を行う。

(5) 施設運営

管理施設が公共施設であることに留意し、利用者が公平・平等に利用できるよう市の体育施設条例を遵守し運営する。

aー受付・調整業務

指定管理施設の窓口、インターネット予約受付及び、学校等夜間照明施設（体育館・グラウンド）に関する受付・調整業務を実施する。なお、毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は翌日）は休館日のため受付業務は実施しない。

bー年間優先予約及び減免措置

四国中央市及び体育協会、体育協会加盟団体、スポーツ少年団、市立学校等の行事や試合に関しては、年間優先予約として次年度の利用を毎年度末に調整し、申請に応じ減免措置を行う。

cーお客様アンケートの実施

毎年1回のお客様アンケートを実施し、正確な利用者ニーズを把握し安全に気持ちよく利用してもらえる施設運営を目指す。

dー掲示物の整理

館内表示やポスター、チラシ等を、利用者に有効活用していただけるよう、また館内の雰囲気良くなるよう心がける。

eー自動販売機による飲料水等の販売

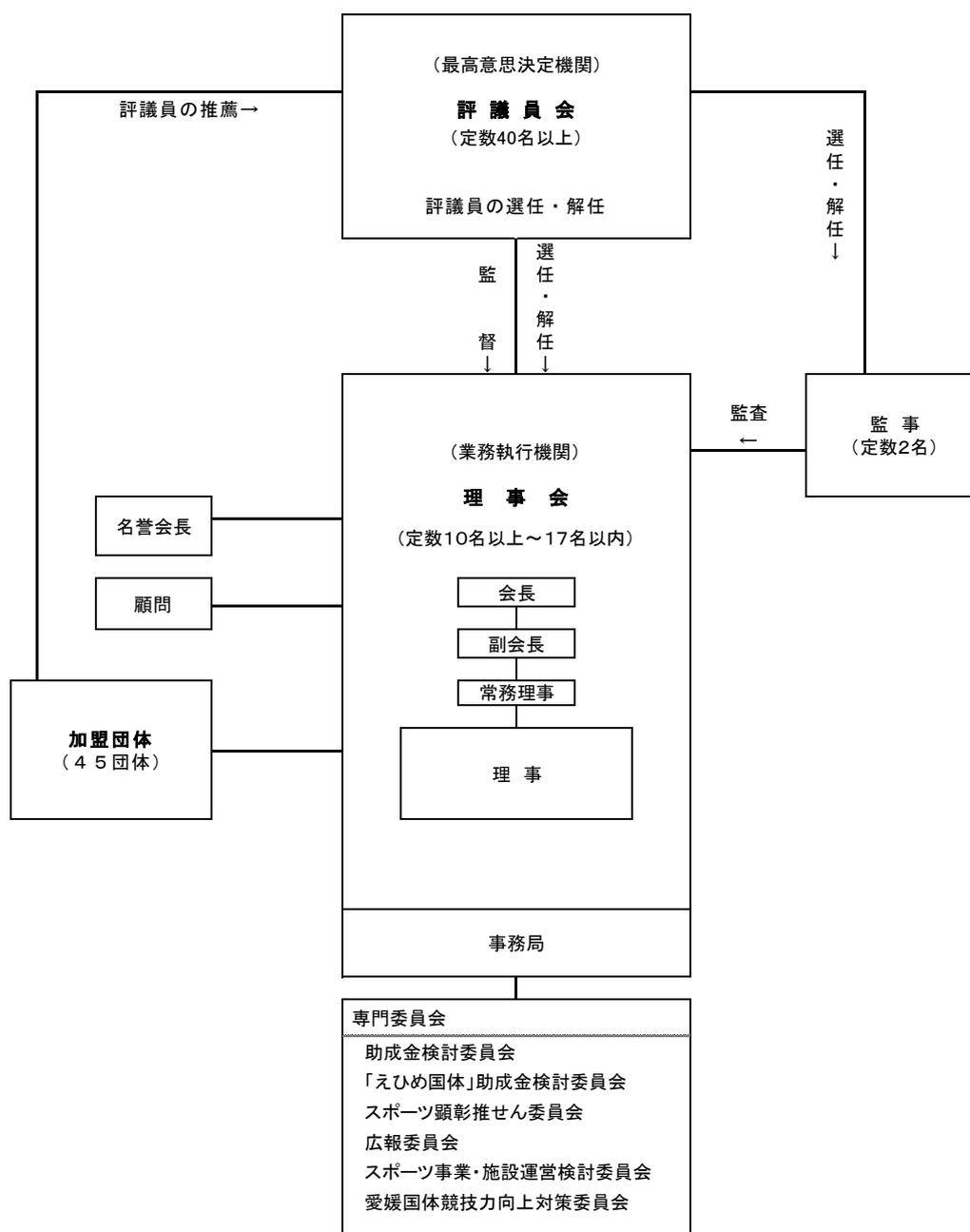
利用者の利便性向上のため、引き続き下記施設に自動販売機を設置し、飲料水等の販売をする。

- ・伊予三島運動公園
- ・スカイフィールド富郷
- ・川の江野球場
- ・かわのえテニスセンター
- ・やまじ風公園
- ・伊予三島運動公園プール

VI. 組織及び人員体制

安心して快適に楽しく利用していただける施設管理運営を行っていくために、職員の役割分担を明確にし、報告・連絡・相談を密に連携を図っていくことが求められる。また、職員の専門スキルを上げるため必要な資格取得を目指し、職員間でその知識を共有していくことで全体の能力アップを目指す。委員会等の機関とも連携し、運営の改善に努める。

1. 当協会の組織図



2. 事務局体制

当協会の事務局は事務局長、職員、無期契約職員、臨時職員の計10名で構成されており、スポーツ振興係、総務係、施設管理係の3業務に大きく役割分担されています。

3. 有資格者数（平成29年3月31日現在）

一級建築士	1名
上級体育施設管理士	1名
体育施設運営士	1名
芝草管理技術者3級	1名
小型移動式クレーン運転技能講習	1名
甲種防火管理者	3名
健康運動指導士	1名
公認スポーツプログラマー	1名
初級障がい者スポーツ指導員	2名
トレーニング指導士	2名
JACOT認定「準指導員」	1名
中学校一種保健体育教員免許状	3名
高等学校一種保健体育教員免許状	4名
日本陸上競技連盟 公認審判員	1名
公認スポーツリーダー	1名
プール衛生管理者	2名
プール管理責任者	1名
応急手当普及員	2名
救命救急講習	8名

